

アフリカ救急医療対応のための移動ラボ



はじめに

目的

活動内容

結果

ENG 日本語



アフリカ遠隔地の農村に臨床検査をもたらす新技術

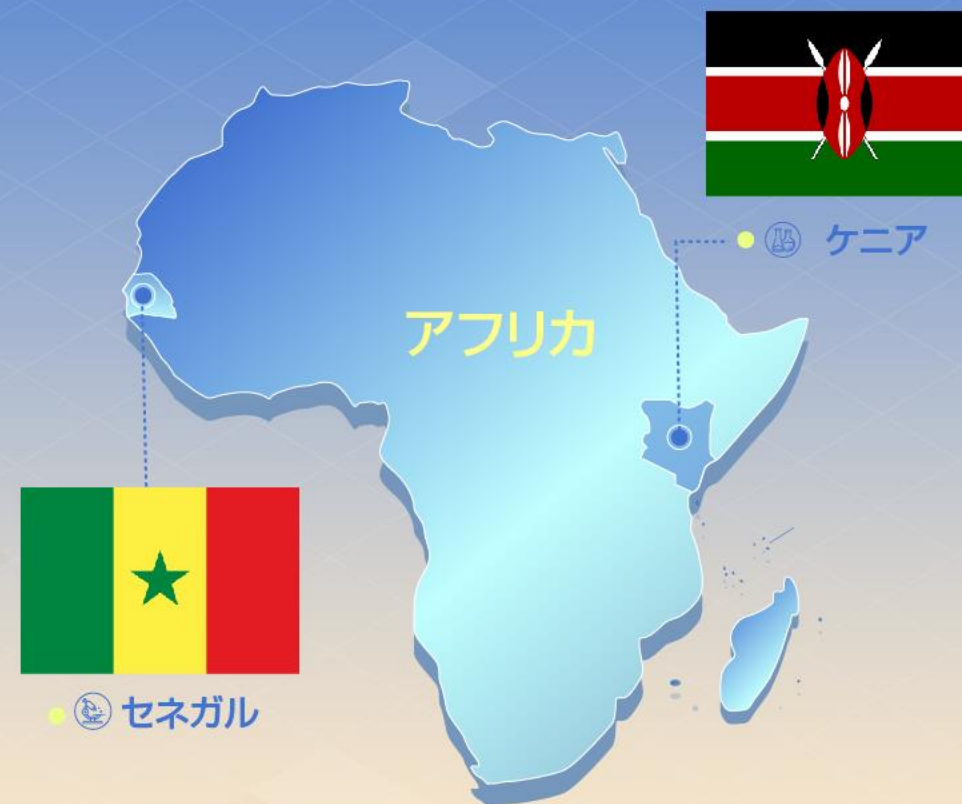


Funded by the EU

SDGs



- アフリカの資源が限られた国々では、特に農村部や非公式なコミュニティにおいて、適時の検査を受けることが大きな課題となっています。これらの地域では多くの病気が流行しているため、検査の遅れが治療の大きな障害となっています。
- この問題を解決するために、移動式検査ラボが活用され、より多くの人々に検査の機会を提供することに成功しています。



新技術はどのように地域社会の医療支援を向上させ、公衆衛生システムの緊急事態への備えを強化できるのでしょうか？

- 迅速対応移動ラボ(RRML)は、公衆衛生上の緊急事態時に地域社会を支援する重要なツールです。
- WHO(世界保健機関)の緊急対応の一環として、感染症の発生時、大規模なイベント、人道支援、自然災害後などに迅速に設置され、医療支援を提供します。
- RRMLは、裕福な国と資源が限られた国の両方で、遠隔地の人々に確実な検査を提供することで医療サービスを強化しています。すでにアフリカや東地中海地域、ヨーロッパなどで活用され、公衆衛生上の緊急事態における診断能力の強化に貢献しています。



アフリカにおけるCOVID-19への対応と感染症流行への備えを強化

- このプロジェクトは、西アフリカ保健機構、ダカールのパスツール研究所、移動ラボメーカーであるPraesens Careを通じて、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応強化や、将来の感染症流行に備えることを目指しています。



西アフリカ保健機関



ダカールパスツール研究所



プレーゼンスケア



はじめに

目的

活動内容

結果

ENG 日本語





BIONEAR : フィールドで活躍する「迅速対応移動ラボ(RRML)」

- BIONEARは、患者のケア全体を通じて幅広い医療サービスを提供できる、適切で目的に合った車両です。医療インフラが限られた最も遠隔地にも到達できるよう設計されています。



デュアルユース(民間および軍用)の小型マルチ地形対応車両



インストレーションやセットアップに時間がかからない



アイソレーター内蔵の安全なBSL3高バイオセーフティーレベル: オペレーター、検体と環境に安全



エネルギー自給設備(発電機、バッテリー)



ポリバリエント、オープンヘルスケアプラットフォーム、ゲノミクス用

BIONEAR



コールドチェーン機能、+4°C、-20°C、-80°Cでの試薬、バイオバンク用サンプル、ワクチンの保管。



最高の品質基準に準拠
-ISO15189認定取得済み



接続性:高速衛星およびGSMシステム、カスタマイズされたLIMS



総合廃棄物管理



(テレ) メンテナンス

BIONEAR : フィールドで活躍する「迅速対応移動ラボ(RRML)」

- BIONEARは、患者のケア全体を通じて幅広い医療サービスを提供できる、適切で目的に合った車両です。医療インフラが限られた最も遠隔地にも到達できるよう設計されています。



移動ラボの活用事例

2023年4月に子供たちの間でロタウイルスの感染が拡大した際、コースト総合教育・紹介病院 (Coast General Teaching and Referral Hospital) は、病気の子供たちを検査しました。

通常であれば、検体はナイロビに送られ、結果が出るまでに数日かかるところでした。

しかし、BIONEARは迅速なFilmArray(フィルムアレイ)検査を提供し、ロタウイルス、カンピロバクター、クリプトスポリジウムなどの原因をわずか2時間で特定することができました。

この迅速な情報により、保健当局はより適切な判断を下し、感染拡大の管理に役立てることができ、時間と費用の節約につながりました。

• ケニアでは、BIONEARプロジェクトが郡の保健局における疾病監視に大きな影響を与えました。



また、BIONEARは2023年4月にアフリカ地域で発生したコレラの流行においても重要な役割を果たしました。

この流行では、53件の疑い症例、5件の確定症例、2名の死亡が報告されました。

コースト総合教育・紹介病院で疑われた患者の検体1件をFilmArrayで検査したところ、わずか2時間でコレラ陽性の結果が判明しました。

この迅速な結果は即座に保健省に共有され、緊急対応が可能となり、感染拡大の抑制に貢献しました。

アフリカにおける移動ラボ・プロジェクトの利点:

- 早期発見と迅速な対応による感染拡大の防止:地域社会の関与を促し、早期警戒監視を強化し、移動式検査室の能力を展開することで、保健システムを強化し、サプライチェーンの継続性を確保します。
- 予防を強化するための的確なアプローチ: WASH(衛生と水管理)プログラムの実施、早期検出メカニズムの導入、経口コレラワクチンの接種を通じて、疾病の伝播を防ぎます。
- 人的・技術的・財政的資源の調整:公的・民間の関係者をあらゆる分野から動員し、提言・コミュニケーションのための強力なプラットフォームを構築するとともに、資金調達、分野横断的な調整、技術支援を行います。



チーム



はじめに

目的

活動内容

結果

ENG 日本語

